



学校だより No.10

日々新たに

尾崎市立日新中学校

平成31年1月30日発行

「震災」に備える

今月17日は、「阪神淡路大震災」の震災記念日でした。本校はこの日、「南海トラフ地震」を想定した地震・津波避難訓練を実施しました。そして、この震災で亡くなられた6,434人の方々を追悼して、半旗を掲揚し、グラウンドに避難した全生徒・職員で黙祷を捧げました。

日本は「地震大国」と言われ、非常に地震が多い国です。昨年は、6月に最大震度6弱の「大阪北部地震」、9月に最大震度7の「北海道胆振東部地震」がありました。今年に入ってすぐの1月3日にも、熊本地方で震度6弱の地震が発生しています。そして、我々が住んでいるこの地域で、今後起こるだろうと考えられているのが「南海トラフ地震」です。この地震は、M7~8の巨大地震で、太平洋の海底を震源とするため、2011年の「東日本大震災」のように、大きな津波が押し寄せてくると考えられています。

「東日本大震災」の時には、高さ10mを越える巨大津波が、東北地方と関東地方の太平洋沿岸に押し寄せ、壊滅的な被害を及ぼしました。この地震で亡くなられた1万5,896人のほとんどが、津波による犠牲者です。もし、将来「南海トラフ地震」が起きたら、揺れと津波による被害で、「阪神淡路大震災」以上の大災害になるだろうと言われています。政府は、この地震が30年以内に起こる確率を「70%~80%」と予測しています。この確率からも、「南海トラフ地震」は、いつ起こってもおかしくない地震なのです。

「阪神淡路大震災」から25年を経て、今私たちがすべきことは何でしょうか。犠牲者の方々を追悼すること、そして、震災の記憶が風化しないように、当時のことを語り継ぐこと。それはもちろん重要なことです。しかし、それ以上に、過去の震災を教訓とし、次の災害に備えることが大切だと思います。

1. 17の日を迎えるたびに、「今ここで地震が起きたら」と身の回りを見回してほしいと思います。倒れてくる物、落ちてくる物はないでしょうか。あれば、転倒防止、落下防止の対策を考えるべきです。子ども達には、通学路やよく遊ぶ場所を観察し、地震で崩れるような「ブロック塀」や倒れてきそうな「自動販売機」等がある危険な場所を、頭の中の「ハザードマップ」に記憶してほしいと思います。

それから、地震が起きたときの「避難場所」、「避難経路」は、事前に確認しておいてください。特に、津波警報が出た場合は、3階建て以上の建物に避難しなくてはなりません。中学校も津波の避難場所になりますが、自宅の近くでも適切な避難場所を見つけておく必要があります。

あと、被災した場合、家族間で連絡をどのようにして取りますか。災害発生時には、メールや電話は、ほぼ通じません。そのような非常災害時に利用できる「災害用伝言ダイヤル」(※NTTなら「171番」)などの利用の仕方を家族で確認しておくことは、いざというときの助けになります。

その他、地震が起きたときの「非常食」・「飲み水」・「生活必需品」の備蓄や、外に持って逃げる「非常用持ち出しバッグ」の準備はできているでしょうか。また、夜に地震が起きたときの「懐中電灯」や、割れたガラスや食器の上を歩くための「スリッパ」が、いつでも手の届く所に置かれているでしょうか。

考えれば考えるだけ、今できる備えがあることがわかります。人間には、地震や津波などの自然災害を止める力はありません。しかし、これから起こる災害を予測して、「防災訓練」に参加したり、できる限りの備えを行うことで、災害による被害を最小限にとどめることができます。

是非、家庭でも、震災の記憶を語り伝えると同時に、地震などの備えについて話しあい、家族みんなで自分たちの命を守る備えをしていただきたいと思います。

校長 宮田 聡

アクティブ・ラーニング研修

1月18日、アクティブ・ラーニング公開授業研究会を実施しました。これは、市の学力向上の委託事業を受けて、2021年の新学習指導要領の実施に向け、「主体的、対話的で深い学び」を取り入れた授業改善をめざす研修会です。



2年生の理科「電流の規則性」と社会「北海道の畑作(じゃがいも)」を教材とした研究授業を行い、大学の先生や教育委員会の指導主事から指導・助言を仰ぎました。

今後も、学校をあげて、授業改善、学力向上に向けての研究を推進していきたいと思ひます。

おはなし集会



1月24日の放課後、視聴覚室で、西宮市立苦楽園小学校の図書ボランティアとそのOBの方々による「おはなし集会」を開催しました。

生徒50名近くが参加し、絵本の読み聞かせやペープサート(紙人形劇)の実演を楽しみました。皆、絵本の世界に没頭し、時には歓声をあげ、興味をもって聞いていました。終わった後の感想には、「絵本や読書の楽しさに触れることができました。もっと本を読みたくなりました。」と書いてくれました。

読書習慣がほとんど持っていない生徒が多いことが、本校の課題の一つです。本年度、1、2年生の朝読書を実施し、図書室の開館日、開館時間などを大幅に増やしました。

今後も、生徒が読書に興味・関心を持ってくれる取組を推し進めたいと思ひます。



2月の主な予定



月	火	水	木	金	土	日
				1 2 年性教育講演会 (5.6h)	2	3
4 1 校時:木6	5	6 補充金5	7 生徒会専門委員会 掃除無し	8	9 私学入試	10 私学入試
11 《建国記念の日》	12	13 チャイム着席週間 5校時まで	14 チャイム着席週間	15 チャイム着席週間 公立推薦・特色・多部 制I期入試	16 公立推薦・特色・ 多部制I期入試	17
18 チャイム着席週間 生徒朝礼	19 ノーチャイムデー	20 学年末テスト 公立推薦・特色・多部 制I期合格発表	21 学年末テスト 2年修学旅行説明会 14:30~	22 学年末テスト	23 特別支援学級 卒業生を送る会	24
25 特別支援学級代休日	26	27 (水5234道)5hまで 生徒会新入生説明会 クラブ見学会	28			

☆ 頑張る日新中生！ ☆

● 尼崎市市長旗杯バレーボール大会
女子の部 第3位



● 第36回尼崎市中学校新人大会
第33回尼崎市中学校女子新人駅伝競走競技大会
第5区 第3位 1-1 奥山 葵

◎ インフルエンザに注意 ◎

全国で、インフルエンザが猛威を振るっています。市内小中学校でも、多くの学校が学級閉鎖や学年閉鎖を実施しています。家庭でも次のことに気をつけて、予防に努めてください。

- 帰宅時や食事前にうがい、手洗いをする！
- 普段から十分な睡眠と栄養価のある食事をとる！
- 部屋の乾燥を防ぐ！（ぬれタオルを干す等）
- 人混みや繁華街への外出を控える！
- マスクを着用する！（咳エチケット）
- 風邪症状があれば早めに病院へ！



◎ 学校アンケート結果 ◎

本年度の学校教育活動について、生徒および保護者の皆様に、アンケート調査を実施しました。裏面にその結果を示していますのでご覧ください。

アンケートにご協力いただきました保護者の皆様、本当にありがとうございます。アンケートの結果を参考に学校評価を実施し、来年度の学校運営に生かしたいと思ひます。



防球フェンス復旧工事



昨年の台風21号で被害を受けたグラウンド北側フェンスとテニスコート北側フェンスの復旧工事が、2月10日から3月20日まで行われます。大型重機やトラックの出入りに対する注意、工事現場に立ち入らないこと等、学校でも指導いたしますが、家庭でもご注意をお願いします。

<3月の主な予定> 3/6(水)：卒業式予行 3/7(木)：卒業式準備 3/8(金)：卒業式 3/12(火)：公立学力検査
3/13(水)：総合学科実技検査 3/14(木)・15(金)：希望者懇談 3/14(木)：2年球技大会 3/15(金)：1年球技大会
3/19(火)：公立合格発表 3/22(金)：大掃除 3/25(月)：修了式

【生徒アンケート結果】

1:よく当てはまる 2:だいたい当てはまる 3:あまり当てはまらない 4:当てはまらない

		1	2	3	4
1	進んで授業に取り組んでいる。	26%	59%	13%	1%
2	進んで家庭学習に取り組んでいる。	11%	37%	38%	13%
3	ノートの取り方など、勉強のやり方を工夫している。	21%	42%	31%	6%
4	授業が理解できている。	20%	49%	25%	6%
5	先生たちは、わかりやすい授業になるよう工夫している。	26%	53%	19%	3%
6	学校やクラスは、学習しやすい環境(教室や設備)になっている。	18%	50%	24%	9%
7	先生たちは、テストの点数だけでなく様々な方法で学習の評価を行っている。	32%	49%	15%	4%
8	少人数授業(3年数)、同室複数指導(1,2年数・英)は、わかりやすいと思う。	26%	41%	23%	9%
9	自分のクラスは安心して生活でき、落ち着いて学習に取り組める雰囲気である。	14%	39%	35%	12%
10	学校生活の中で、命の大切さや人権などについて学ぶことができている。	26%	48%	21%	5%
11	道徳の授業は、自分の生活や人生のためになる。	31%	44%	18%	6%
12	自分から進んであいさつをしている。	43%	36%	17%	4%
13	学校のきまりや社会のルールを守っている。	42%	51%	5%	1%
14	計画的に学習や活動に取り組んでいる。	17%	44%	31%	8%
15	困った時は、先生に相談する。	12%	26%	34%	28%
16	担任の先生以外にも、相談できる先生がいる。	21%	25%	30%	24%
17	日新中学校に、スクールカウンセラーがいることを知っている。	35%	23%	13%	29%
18	卒業後の進路や将来の職業について、よく考えている。	28%	36%	24%	12%
19	トライやる・ウィークでの経験は、将来の生き方を考えるのに役立っている。(2,3年生)	41%	43%	13%	4%
20	進路についての情報や指導は、分かりやすい。	21%	49%	25%	4%
21	栄養のバランスを意識して、食事をしている。	25%	43%	26%	7%
22	保健体育の授業や部活動を通して、体力や運動能力が高まっている。	38%	39%	15%	8%
23	交通ルールやマナーを守り、安全に登下校をしている。	58%	37%	4%	1%
24	地震や火災・水害などの災害発生時に、自分の身を守る方法を知っている。	31%	50%	16%	3%
25	家庭で携帯電話やスマートフォン(メール、ライン等)・インターネットなどを使用する上でのルールがある。	33%	30%	21%	16%
26	携帯電話やスマートフォン(メール、ライン等)・インターネットなどで、トラブルになった経験がある。	10%	11%	16%	63%
27	日新中学校の校訓を意識して生活をしている。	15%	34%	30%	20%

【保護者アンケート結果】

1:よく当てはまる 2:だいたい当てはまる 3:あまり当てはまらない 4:当てはまらない

		1	2	3	4
1	学校からの配布物には、必ず目を通している。	37%	49%	10%	4%
2	お子さんは、家庭等で進んで学習に取り組んでいる。	11%	44%	34%	11%
3	お子さんは、読書に親しんでいる。	11%	17%	40%	32%
4	家庭で携帯電話やスマートフォン(メール、ライン等)・インターネットを使用する上でのルールがある。	18%	48%	25%	9%
5	日新中学校の教員は、授業の工夫・改善を行っている。	4%	59%	33%	4%
6	日新中学校の教員は、テストの点数だけでなく様々な方法で学習の評価を行っている。	7%	66%	23%	4%
7	日新中学校は、命の大切さや人権などについて指導している。	10%	52%	33%	5%
8	日新中学校は、お子さんが学校のきまりや社会のルールを守れるように指導している。	16%	68%	15%	1%
9	日新中学校は、友達を大切に、いじめなどを許さないクラス・学校づくりに努めている。	9%	55%	30%	6%
10	日新中学校の教員は、お子さんのことについて相談しやすい。	13%	53%	27%	7%
11	スクールカウンセラーに、保護者も相談できることを知っている。	26%	38%	17%	19%
12	進路についての情報や指導は、分かりやすい。	11%	47%	34%	8%
13	日新中学校は、食育を通して健康を重視する指導を進めている。	3%	39%	47%	11%
14	日新中学校は、保健体育の授業や部活動を通して体力と健康の向上に努めている。	13%	60%	25%	2%
15	日新中学校は、安全教育に取り組むと共に、登下校および校内の安全確保を図っている。	12%	57%	26%	5%
16	日新中学校は、防災教育の充実に取り組んでいる。	9%	61%	28%	2%
17	日新中学校は、情報通信機器(スマホや携帯など)を使う上でのリスク(危険・危機)について指導している。	15%	63%	21%	1%
18	日新中学校は、教職員の資質・指導力の向上に努めている。	5%	56%	33%	7%
19	日新中学校は、いじめなどの問題行動に対して素早く組織的に動いて解決を図っている。	6%	50%	36%	8%
20	日新中学校は、地域の人材や施設を活用したり、PTAや関係機関と連携し、開かれた学校づくりを図っている。	8%	63%	24%	4%
21	日新中学校は、保護者の期待や願いに応えている。	5%	56%	32%	7%

◎ 生徒アンケートから ◎

[1]生徒の85%が、進んで授業に取り組んでいると感じている一方、[2]生徒の51%が、進んで家庭学習に取り組めていないと感じています。今後、家庭学習の定着が進むように、宿題の出し方を工夫したり「チャレンジ学習」等の放課後学習を促進したりしていきたいと思ひます。

[5]生徒の79%が、先生はわかりやすい授業の工夫をしている、また、[7]生徒の81%が、先生はテストの点以外でも評価していると感じています。今後も、授業改善や評価方法の工夫に取り組み、教員の更なる授業力の向上を目指して授業研究や研修に取り組んでいきたいと思ひます。

[9]生徒の47%が、自分のクラスで落ち着いて学習や生活ができていないと感じています。授業規律を徹底すると共に、安心して積極的に学ぶことができる学習環境づくりに取り組んでまいります。

[10]生徒の74%が、命の大切さや人権について学べている、また、[11]生徒の75%が、道徳の授業は自分のためになると感じています。今後も、こころの教育に力を注ぎ、こころ豊かな生徒の育成に取り組むたいと思ひます。

[12]生徒の79%が、自分からあいさつを行っている、また、[13]生徒の93%が、学校のきまりや社会のルールを守っていると感じている一方、[15]生徒の62%が、困ったときに先生に相談できていない、また、[16]生徒の54%が、担任の先生以外に相談できる先生がいないと感じています。今後も、生徒の規範意識を育てると共に、生徒との信頼関係を基盤とした生徒指導および生徒理解につながる教育相談を実施していきたいと思ひます。

[19]生徒の84%が、2年生の「トライやるウィーク」の経験が将来の生き方を考えるのに役立っていると感じています。今後も、生徒の体験活動を大切に、将来の社会的・職業的自立につなげ、人とのつながりを通して心の教育に結びつく「トライやるウィーク」を推進していきたいと思ひます。

[22]生徒の77%が、体育や部活を通して体力・運動能力が高まっていると感じています。今後も、体育の授業、体育的行事、部活動等の様々な教育活動を通して、健やかな体づくりを目指していきたいと思ひます。

[23]生徒の95%が、交通ルールを守れている、[24]生徒の81%が、地震や火災等の災害に対する防災学習が身につけている、また、[26]生徒の79%が、ネットでのトラブルをあまり経験していないと感じています。今後も、生徒の防災意識、情報モラルの向上をめざし、防災教育や安全教育に取り組んでいきたいと思ひます。

[27]生徒の50%が、中学校の「校訓」をあまり意識して生活できていないと感じています。今後も、全教育活動を通して「校訓」を意識させ、実践に向かわせるように、全職員で教育活動に当たってまいります。

◎ 保護者アンケートから ◎

[1]保護者の86%が、学校からの配布物に目を通してくださっています。今後も、配布物、学校ホームページ、一斉メール配信等を用い必要な情報をお伝えしていきますので、ご協力をお願いします。

[3]保護者の72%が、子どもが読書に親しんでいないと感じています。学校としても、生徒の読書離れは大きな課題と考えています。本年度、各学級で学級文庫を設置したり、1,2年生で朝読書の時間を設定したり、また、図書室の開館日や開館時間を増やすなどの読書環境づくりに取り組んでまいりましたが、今後も一層、読書活動を促進する取組を推進していきたいと考えています。

[8]保護者の84%が、学校が生活のきまりや社会のルールを守るよう指導していると感じています。今後も、生徒が規範意識を持てるように指導すると共に、思いやりの心を持ち他者の人権を尊重できる生徒を育てていきたいと思ひます。

[13]保護者の58%が、学校が食育を通しての健康指導が十分ではないと感じています。今後、食育やアレルギー対応等の健康教育に取り組むと共に、将来開始される中学校給食に向けての準備も進めていきたいと思ひます。

[16]保護者の70%が、学校が防災教育に取り組んでいる、また、[17]保護者の78%が、学校が情報モラル教育を実施していると感じています。今後も、自分と他人の命や人権を大切にする教育を推進してまいります。

[19]保護者の44%が、学校に対していじめ等の問題の素早い組織的対応を求めておられます。学校として今後も、心の教育を推進し、いじめの未然防止に努めると共に、教育相談やアンケートを通して早期発見に努め、本校の「いじめ防止基本方針」に則って適切な対応を行ってまいりたいと思ひます。

この他、自由記述により、本校の学習指導や生徒指導、部活動指導のあり方、PTA活動に対して、大変貴重なご意見をいただきました。ちょうだいしたご意見や励ましを、今後の学校運営に生かしていきたいと思ひます。本当にありがとうございました。